

製品名: 脂肪酸合成酵素ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10849**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	273kDa

抗原情報

遺伝子名	FASN
別名	FASN; FAS; Fatty acid synthase
遺伝子 ID	2194.0
SwissProt ID	P49327
免疫原	抗血清はヒト脂肪酸合成酵素由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 1478-1527

背景

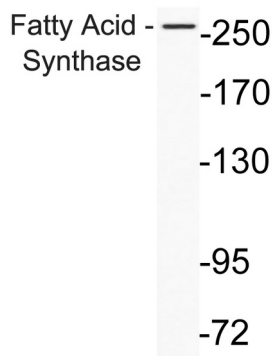
この遺伝子によってコードされる酵素は多機能タンパク質です。その主な機能は、NADPH 存在下でアセチル CoA とマロニル CoA か

らパルミチン酸を長鎖飽和脂肪酸へと合成する反応を触媒することです。一部の癌細胞株では、このタンパク質がエストロゲン受容体 α (ER- α) と融合していることが発見されており、FAS の N 末端が ER- α の C 末端とインフレームで融合しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: (3R) -3-ヒドロキシアシル-[アシルキャリアタンパク質] + NADP (+) = 3-オキソアシル-[アシルキャリアタンパク質] + NADPH。、触媒活性: (3R) -3-ヒドロキシパルミトイル-[アシルキャリアタンパク質] = ヘキサデカ-2-エノイル-[アシルキャリアタンパク質] + H (2) O。、触媒活性: アセチル CoA + [アシルキャリアタンパク質] = CoA + アセチル-[アシルキャリアタンパク質]。、触媒活性: アセチル CoA + n マロニル CoA + 2n NADPH = 長鎖脂肪酸 + (n+1) CoA + n CO (2) + 2n NADP (+)。、触媒活性: アシル-[アシルキャリアタンパク質] + マロニル-[アシルキャリアタンパク質] = 3-オキソアシル-[アシルキャリアタンパク質] + CO(2) + [アシルキャリアタンパク質]。触媒活性: アシル-[アシルキャリアタンパク質] + NADP(+) = トランス-2,3-デヒドロアシル-[アシルキャリアタンパク質] + NADPH。触媒活性: マロニル-CoA + [アシルキャリアタンパク質] = CoA + マロニル-[アシルキャリアタンパク質]。触媒活性: オレオイル-[アシルキャリアタンパク質] + H(2)O = [アシルキャリアタンパク質] + オレイン酸。機能: 脂肪酸合成酵素は、アセチル CoA、マロニル CoA、および NADPH からなる多機能タンパク質。この多機能タンパク質は 7つの触媒活性とアシルキャリアタンパク質を有する。、その他: β -ケトアシルシンターゼ活性が比較的低いのは、タンパク質中の 4'-ホスホパンテテイン含有量が低いためと考えられる。、配列注意: 複数の配列エラーがある。、類似性: 1つのアシルキャリアドメインを含む。細胞内局在: 質量分析法によって、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画で同定された。、サブユニット: 頭尾方向に配列したホモ二量体。組織特異性: 普遍的。脳、肺、肝臓で顕著に発現する。、

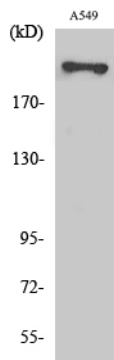
研究分野

脂肪酸生成;インスリン受容体;

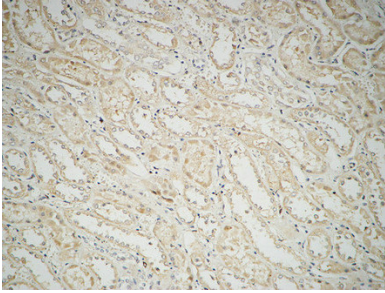
画像データ



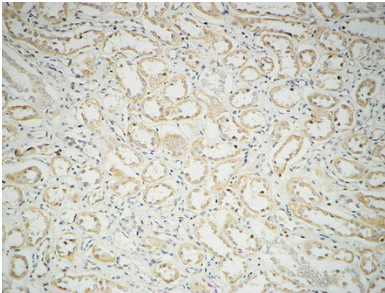
A549 細胞溶解液の脂肪酸合成酵素抗体を用いたウェスタンブロット分析



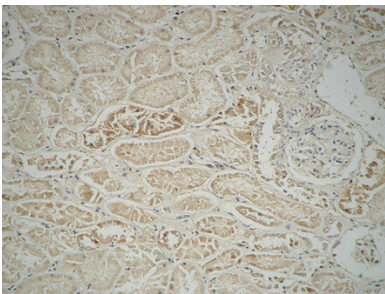
1: 1000 に希釈した脂肪酸合成酵素ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。